

豊川ごみ減量かわら版

～在宅医療をご利用の方およびご家族の皆様へ～

在宅医療でご使用になられた、医療用注射針・点滴針・血糖値測定器の針は、必ず医療機関や薬局等へ返却してください。

絶対にごみステーションへは出さないようにお願いします。



医療機関等に返却を！



針の付いた注射器、
ペン型注射器の針等

特にペットボトルや空き缶のなかに注射器や注射針が混ざっていると、ごみを収集する作業員や選別する施設で手選別作業をしている作業員がケガをする可能性があり、大変危険です。



※医療機関や薬局等へ返却ができない場合には清掃事業課(89-2166)へご相談ください。

選別する施設では、機械でゴミ袋を破って中身を取り出し、作業員が手選別で異物を取り除く作業を行っています。

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



生ごみの水切りでごみ減量を！



令和4年度に豊川市清掃工場で処理した家庭から出た可燃ごみの量は、約37,009トン。しかし、可燃ごみには多くの生ごみが含まれており、うち水分の量が約80パーセントと言われています。ごみに含まれる水分の量が多いと、ごみの収集や焼却に時間がかかり、余計なごみ処理経費が必要になります。

生ごみを出すときには生ごみを”ギュッと”ひとしぼりでごみ減量にご協力をお願いします。